

Living Life Club とは『いきいきとした 楽しいクラブ』です

**2月** 社会行事：3日（水）立春、11日（木）建国記念の日  
 18日（木）雨水、23日（火）天皇誕生日  
 地域行事：17日（水）エル・エル・クラブ創立日



現在の会員数	合計	男	女
当 月	102	49	53
前 月	103	50	53
増 減	-1	-1	0

＝季節の風物詩＝

2021年の節分は2月3日でなく、2月2日です。明治30年（1897年）以来124年ぶりに2月2日になります。立春の日付が変われば節分も変わると言われています。節分は季節を分けるという意味で、立春、立夏、立秋、立冬の前日が「節分」ですが立春の前日だけが残ったとされています。

2月	日	曜	時間	場所
役員会	16	火	10:30～	第1集会所
グラウンドゴルフ	毎週	月水木	8:15～	第1公園
スポーツ吹矢	5 19 26	金金金	13:30～	第1洋
月例会				
カラオケ（男子）（女子）			中止	
民踊				
ボッチャ				
清掃			休み	

2月生まれの方々（敬称略）

桂野 眞澄（米寿）  
 肥後 玲子（喜寿）  
 市川 輝雄（喜寿）  
 中村 宏通 大川 敏夫  
 山下 都子 中川 純一  
 近藤 多津子



エル・エル俳句

ベランダの雀と分け合ふ 日向ぼこ（主水介）  
 野に山にひかり流離ふ 二月かな（たたえ）  
 おちこちに春を叫ぶか 落の臺（益之助）

**祝 エル・エル・クラブ 創立46周年**（Living Life Club 1975年2月17日創立）  
 創立の月おめでとうございます。クラブの名称の通り「生き生きとした人生を送る」会です。会員の皆様が絆を深め楽しいクラブにしましょう。昨年の45周年記念大会は76名の参加を得て盛大に催されましたが、それ以降3密防止のため、月例会は中止になっております。皆様のクラブへのご協力に感謝し、中旬頃粗品をお届け致します。

- 1月 月例会 中止
- \*1月誕生者 14名に 祝い品配布
- \*2月月例会は中止（3密防止の為）

**かがやきクラブ横浜（シニアの祭典）**   
 参加費無料、申込不要  
**2月26日（金）10時～15時** 会場：横浜武道館  
 シニアスポーツ紹介、体験、健康チェック、物販、  
 展示コーナー等 人生100年時代のシニアライフ

《会員投稿》 北アルプスの麓で

コロナ禍の中、田舎の旧友と盃を交わすことも出来ず寂しい限りです。「S31年北アルプスの麓、長野県大町中学校入学当時の集合写真」を懐かしく眺め担任の一志先生、50人の同級生と学び、スポーツ大会で優勝し歓喜した事、ギョロ眼の新任女性の音楽教師に「出目金」とあだ名を付け、「声色で金魚売りを真似」先生を号泣させた事、野ネズミを女子生徒の靴に入れ叱られた事等多くの思い出が詰まった一枚の写真です。一志先生は東京外大出の英語教師で、英語の授業中は日本語禁止でした。これに慣れるまでは苦勞の連続でしたが、先生は若くして癌で亡くなり、盃を交わす事が出来ないのは残念です。仲良しの友達に、同じ帰り道のH、M君でした。帰り道の小学校の校庭で「数学、理科」の教えを請うたり、互いの好きな女の子の話に熱中した事等楽しい思い出が多く浮かんできます。日曜日にH君の家で「先生役の彼から勉強法を教えて貰い」大いに刺激を受けました。彼は「理科系の学者への夢」を熱く語っていました。名古屋の大学院を卒業後、博士号を取得し長年海外で研究と教鞭をとり、帰国後は母校で「環境工学」の教授に赴任しましたが、退官後若くして亡くなりました。H君が存命なら今日の「地球温暖化、環境破壊」に対し、どんな提言をするか聞いてみたかったです。一方、M君はJRを退職後実家の農業を継ぎ、安曇野のリンゴPRに全国を飛び回っています。

鹿島橋

何時か北アルプス下山後、M君、同級の奥さん、野ネズミ事件主犯I君と飲み会が開催できる日を待ち遠しく思います。（15-304 太田 亮一）

